

花の語り



ライオンズクラブ国際協会
337A地区7R3区

1994・7～1995・6

第4号



福岡桜ライオンズクラブ



FUKUOKA SAKURA
LIONS CLUB

会長提言

知性豊かに皆んなで奉仕
仲よく 楽しく 美しく

目次

会長挨拶	(L 森本 攸子)	1
幹事	(L 濱田 光江)	2
会計	(L 宇山 典代)	3
委員長のことば		
指導力育成ライオンズ情報委員長	(L 松井 和子)	4
大会・接待会則委員長	(L 吉松セツエ)	5
会員・出席委員長	(L 長友美智代)	5
財務計画委員長	(L 西川ともえ)	6
公衆安全・社会福祉委員長	(L 古賀カツ子)	8
市民・環境保全・アクティビティ 教育・レクリエーション委員長	(L 斉藤 敬代)	9
YEプログラム・国際関係プログラム委員長	(L 井川ケイ子)	10
視力・聴力保護・災害・保健 糖尿病教育・レオプログラム委員長	(L 山口マツ子)	12
花便り		13
次期会長挨拶	(L 山本千鶴子)	37
アクティビティ		38
編集後記	(PR会報編集委員)	

表紙の花 L 山川久美子
題字 L 江口つや子

福岡桜ライオンズクラブ会長

来期にむかって ウィサーヴ

会長 L 森本 攸子



本年度「知性豊かに皆んなで奉仕 仲よく楽しく美しく」を会長提言として
かけましたが、本当に仲よく楽しくみんなで奉仕を、そのままに、この1年
ご協力頂き、無事会長を務めさせて頂きました事、感謝の気持ちで一杯です。
よく「一年間大変だったでしょう」と最近お声をかけて頂きます。

忙しい1年でしたが、私がさせて頂きたいささかのお手伝いの何倍か
のものを頂戴致しました。人や出来事との出会い、発見や感激もありました。
色々な事を学び、又楽しませて頂きました。それにもまして今年は素晴らしい
事がありました。来期にむけて、桜LCより女性ゾーンチャーマンの誕生で
す。考えてみますと全ライオンから見ると、ほんの一握りの女性会員、多くの
何十年在籍という大先輩のいられる中、入会して六年と日も浅い。これは先輩
ライオンの暖かいご理解と、寛容のライオンズ精神の表れとこれも感謝です。
これにむくいる為にも、松井ライオンに是非がんばって頂きたいと、心よりエー
ルを送ります。

最後になりましたが行動力あふれた、たよれる浜田幹事、聡明な宇山会計、
しっかりがんばって行動して頂いた各委員長さん始め会員の皆さん、私をしっ
かりと支えて下さった事を心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

来期にむかって ウィサーヴ!!

国際交流新竹慈慧L.Cと共に

幹事 L 濱田 光江



国際協会 300G区新竹慈慧L.Cと姉妹締結をして5年経過しました。

今期も10月3日の夜、慈慧L.Cシスター18名が来福、4日に合同例会を久しぶりに開催し、旧交をあたためあった。施設訪問は、はかた桜園を慰問し、老人達との歌の交換をし、10万円のドネーション



をして頂きました。歓迎会は音羽鮎で、歓送会は大坂屋にて、元ガバナーL 秦 三郎を迎えて楽しい一時を過ごし無事帰国されました。

私共福岡桜L.Cは、新年早々の1月10日より13日迄の2泊3日の新竹訪問を、20名で致しました。相変らずの歓待で少しトラブルはありましたが、周年行事に参加し記念品交換し、翌日は早朝より尼寺「智観寺」を訪問し、手づくりの朝食を頂きました。

昼から大溪鳴、鴻禧大溪別館に宿泊し、寺院（樊介石のお墓）参拝とはじめてのゴルフの組に分かれ友好を深めました。12日は慈慧L.C理事L周 彩玲の経営する「樹仁残障福利事業基金会」を訪問しました。障害児の作品の器や絵等を見学し、10万円ドネーションをして帰路につきました。初訪台の会員がおられましたが、買物をする時間が少なく残念に思いました。



四季いろいろ

会計 L 宇山 典代



春、萌、夏、翠 ……

季節の移り変りに身をまかす間もなく、つかの間の出来事で一年は終りを告げる。

通常人々は、人と人とのかわりの中で日常生活の営みを続けているが、真のノーマルな社会を求めて努力するプロセス、過程そのものに共感的理解や、相互関係の形成がなされるものと思う。

会計職を引き受けて、桜L.Cの会員の皆様の友情にささえられ、出逢いの尊さや、順応、適応といった望ましい人間相互関係の力強さをあらためて認識し、目標に向かって進む人生の素晴らしさを味わったこの一年 ……。

桜L.Cのみなさん、一年間本当にありがとう!!



身障者による馬の訓練所を尋ねて（フロリダ）



理解される事の大切さ

指導力育成ライオンズ情報委員長 L 松 井 和 子



雨に打たれて生き生きと美しさを増すあじさいの花、あじさいに雨はよく似合う。梅雨に梅雨らしく雨が降り、水に恵まれひと安心した。

桜LCも第六期を無事に終えた。

森本会長を始め三役の皆様大変お疲れさまでした。今期は例会ごとに指導力育成情報タイムがもうけられ、第一例会は委員長が、第二例会は委員がその時間を担当した。

桜LCの生いたち、LCIFの重要性と必要性、キャビネットからの報告や新しい情報、その他ライオンズに関する事を巾広くとりあげると云った内容であった。

その結果、感じた事は、協力を得るためには、その事について良く理解される事である。その事が何のために必要なのか。それが成されることによって何がどう変わるのか、よく理解する必要があると思った。

私の思い過ごしかも知れないが、LCIFについて説明をしたせい今期はLCIFへの協力者も多かったように思う。

何事をするにも、まず理解される事が、事の始めの第一歩のように思う。

今期が終り、結成当初からの事など、静かに思い起こしてみた。会員は変わった。自己をみがき、それぞれが、すばらしいライオンになっていると思う。会員同志の信頼も厚くなり、皆仲良く、和気あいあいとした楽しい例会がもて、友人関係も良い雰囲気保てていると思う。

先日、初代会長 明石L77才の祝いの会が七夕の夜開催された。薄紫色の振袖姿に思わず「きれい」と声をあげた。「老い」を忘れた明石Lを見て「老い」への恐怖がなくなった。「銀の会」のメンバーが舞台にあがり、ささに願いをこめた短冊を結び、明石Lを囲んで「ささの葉さらさら…」と歌った。LCで生まれた美しい温かい友情にふれ、本当に嬉しかった。

「何事にも一生懸命」

大会・接待会則委員長 L 吉 松 セツエ



委員長をお受けして、あっと言う間の1年を振り返り、全員でよく頑張ったなー、の印象を強く持ちます。

去る4月16日、337-A地区大会では、岡本ガバナーからの強い御要望で「ライオンズクラブの歌」のダンスを踊りました。この踊りは、以前九大の武内教授が創作されたものに、L日下部が今度少々振付けを加えたものです。始め、会長よりお話をお聞きしました折には、全員驚き、とまどったものです。が、そこは桜ライオンズの皆さんの事、一度お引受けしたからには、ある時は例会後にその場で輪になり、又ある時は、L西川のお店のお座敷を借り、当日は会場に向かうバスの中で、ゆられゆられながら熱心に練習を重ねました。そのかいあってか、なかなかの出来映え(?)と他のクラブの方々よりおほめのお言葉を頂き、全員胸をなでおろしたものです。

桜クラブ全員が、何事にも一生懸命立向うこの気持ちが、今年度も大きな花を開き、昨年に引き続き13本ものアワードを頂く事が出来たのだと思います。

「何事にも一生懸命」の精神は、桜ライオンズクラブのこれからの活動に、大いに活かされる事は言う迄ありませんが、又、私達の日々の暮らしの中でも、この気持ちを持ち続ける事が、会員皆んなの願いでもあると思います。



会員委員長を終えて

会員・出席委員長 L 長 友 美智代

戦後最大と云われる阪神大震災をはじめ、オウム事件、日米貿易摩擦と国内、外、共に心を暗くする様な出来事の多い中、会員、出席委員長のお役が後1ヶ月で終わろうとしています。ここでこの1年を振り返って見ようと思います。任期の始めに会長より何やら

大きい封筒が届きました。開いて見ますと「クラブ会員委員長の手引」が入っていました。頁を開くと会員委員長は、クラブ運営に於いて大変重要な役職であり貴殿の努力によって貴クラブが強化され地域社会における地位を固めることになるのです。」と書かれておりました。この様に重要なお役が務まるだろうかと、心引きしめる思いですこし緊張してしまいましたが、ともかくひとつひとつ勉強しながら頑張ってみようと、まず今年度の会員名簿の作成準備に入りました。住所、電話番号の変更、新入会員の追加とけっこう大変な仕事でした。

でも名簿作りを通して会員の方々と少しでも親しくなれた事は良かったと思います。委員会で一番大切な事は会員増強、会員獲得があげられます。入会希望者から申し込み書が提出されますと会長、幹事、と一緒に面接をしますが人が、人を選ぶ事のむつかしさを痛切に感じ、これで良かったのかと自問自答することもありました。理事会で承認された新入会員の方々は載帽式で「一本の灯」の朗読を開き情熱を持って入会されます。全会員で暖かくお迎えし、早くクラブの雰囲気に関わり込んでいただける様心がける事も、委員会のつとめだと思います。又、退会防止、例会出席へのお誘いと努力はして見ましたが、なかなか難しく思ったようにはいきませんでした。しかし、この一年、反省も含めてなんとか務めを終え、しかも会員皆様のご協力によって、会員増強のアワードを戴くことが出来たことは喜ばしい限りでした。心から感謝申し上げます。有難うございました。

美女・聖女大集合

財務計画委員長 L 西 川 ともえ



数ある委員会の中でも、財務計画委員会は今はやりのイベント屋さんの要素があり仕掛人として楽しくお世話させていただきました。ではこの一年間を振り返りますと8月23日、納涼例会、ハイアット・レジデンシャルスイート福岡のスイートルームを借り切り約40名の予定が定員オーバーの60名を越える程好評でした。又、例のごとくオークションもあり、この桜L.Cを中心に福岡、否、世界の経済はまわっているかの感があり、お札が飛び交い会員のお人柄を反映し、思わず我を忘れてしまう程、魅惑的な「真夏の

夜の夢” の一夜でした。

11月3日、事業資金獲得の為にチャリティ能が、森本会長のご尽力で大濠楽堂にて催されました。出演者はトップクラスの方々と、又、会長のご子息も若さみなぎる澆刺として見応えがあり大評判でした。おかげさまでたくさんの資金を得ることができました。

12月20日、福岡21L.C.との合同忘年例会は岡本ガバナーを初めたくさんのゲストを迎えもりだくさんのアトラクションで時間が足りない位でした。何よりも最高傑作は松



井ライオン指導によります「黒人美人コーラス・ソウルトレイン」で、出演者のあまりの化け方に誰が誰やらさっぱりわからず「あれは誰かしら？」「えっあの人が！」「ウソー」という風に会場驚きと笑いに溢れ、ガバナーも思わず、Big Bigドネーションをされたほどでした。これは我がクラブの宝にしたらいと思います。

2月21日は、古賀ライオンの美野島のウキコボールでチャーターナイト例会です。古賀ライオン心づくしのオリジナル料理で皆様大満足でした。

4月18日、19日、安芸の宮島へ親睦旅行に24名で出かけました。新緑の萌える奥宮島の江戸時代創業という由緒ある旅館「岩惣」に宿をとりました。その夜大賑わいの宴会の後、小雨煙る森閑とした真っ暗闇の中に皓々とライトアップされた真っ赤な厳島神社の大鳥居にしばし悠久の思いに浸りました。宮島は聖なる神の島とのこと私達の身も心も清められたようです。もっとも聖女ばかりのことですが？！

以上ですが、皆様のご協力、本当にありがとうございました。次期の方、楽しみにしております。



宮島観光記念
平成7年4月18日



暖かいふれあいをありがとう

公衆安全・社会福祉委員長 L 古 賀 カツ子

社会福祉委員長として、とまどいの多い、又、反省ばかりの一年間でしたが、クラブの皆様の暖かいご支援ご協力を頂きまして、どうにか終わります事を心より感謝申し上げます。

博多さくら園では第三水曜日のおむつたたみ、昨年に引き続きの作業で皆さん手つきもよろしく、手と口を動かし乍らの楽しい作業でした。

特に今期は銀の会の皆様のご活躍を頂きました。

4月には開園三周年の記念式典が行われまして、入園者はお揃いのピンクのハッピー姿、いつもよりお若く晴れやかな様子に見えました。

施設長様のご挨拶の中に「本来でしたらつまらないものですが、どうぞ召し上がって下さい、と申すところですが私はそうは申しません。職員が心を込めて、皆さんの為にこんな素晴らしい料理をこしらえました。どうぞ心ゆくまで楽しんで下さい。」とありましたように、すべて手作りで、お年寄向けの工夫をこらした、真心のこもった料理が沢山並べられていました。

又、日頃のおけいこの披露があり若い職員さんの親切な指導を拝見し、詩吟や色々な楽器を使って歌ったり、和やかなものでした。

職員の、皆様の今後の取り組みに対する熱意が伺え、この施設に入園なさっているお年寄りには幸せだなあ、と感じたのは私だけだったのでしょうか？

筑紫少女苑

盆踊りでは花火があがり、少女達は皆、浴衣を着て、やさしいお姉さんといった感じ、舞踊愛好会の皆様の沢山の参加があり、上手に踊られる中、私達は見よう見まねです。ユニバーシアード音頭の音楽が流れると u. u. u. だけはこっちの物とばかりに踊りますが、他の曲は難しいものばかり…。その中すっかりとけ込んで楽しんでいるのです。我が子と一緒にいるみたいに…… やっと少し踊れるようになったかなあと思うと、もう終わりに近づいていました。

少女から御礼状が届きました。

私達の盆踊りに来て下さり、本当にありがとうございました。短い時間ではありましたが、とても楽しく良い思い出となりました。お菓子までプレゼントして下さい、本当にありがとうございます。私達は、日頃お菓子とかあまり食べられないから、とてもうれしかったです。きんちゃく袋も作って下さってありがとうございました。私はまだ後半年間ぐらい苑にて生活する訳ですが、社会に出る為に少女苑で一生懸命自分の悪い所を改善していきたいです。また逢える日を楽しみに待っています。さようなら。

このようにかわいい手紙を頂く時、頑張るね、立派な大人になって幸せを掴んで!! と祈らずにはられません。

アクティビティの働き

市民・環境保全・アクティビティ

教育・レクリエーション委員長 L 齊 藤 敬 代



アクティビティの働きは、ここ数年、毎週金曜日、場所を開放してくれているライオン宅にてコツコツと手作業を続けています。

約1年かけて、重度身障者の子供達が、安全に遊ぶことのできる、おもちゃシアターを作っています。これは、南福岡病院の方からの希望もあり、たいへん喜ばれているものの一つで、その品物をお届けする時に、子供達のうれしそうな顔に会えるのも、毎年

の私共の喜びです。

今年は、“チャリティ会”において展示即売をさせていただき、多くの方々に見ていただいて、桜ライオンズの一つの働きを、見ていただく事が出来ました。

針仕事という、小さ



な働きではありますが金曜日、そこにいけば、ライオンの誰かに会える、口も手も動かしながら、しばらくの時を過ごすのも又、楽しみの一つ、
この働きが、末永く続けられることを願っています。

ホームステイの任を終えて

Y E プログラム
国際関係プログラム委員長 L 井 川 ケイ子



お正月早々、遠来から娘がやって来ました。目の色、生活様式が全く違い言葉の通じない娘でした。

私達、初老の二人にはとまどいを感じましたが、彼女の若さがまぶしい様な存在に写り、家の中が若やいで来たのを覚えました。

子供達が巣立ってしまった今、二人だけの静かな日々、そんな生活の中に突然の娘の来訪でした。彼女を迎えるに際し、計画は立てていたものの、毎日をどうしようかと思案をめぐらせましたが、何事も成せば成るの気持ちで当る事にしました。

彼女の来日を、子供達が何か楽しい事でも待つ様に待った日々でした。

我家で、英語が話せないのは私だけで、それを心配した子供達が我家に泊り込み大家族での生活で、夜遅く迄賑わいはしゃぎました。

彼女は、外国人にしては日本を良く理解し、より以上に日本に興味を持ち、知ろうと

努力している様子でした。

食事は、パン食より日本食を好み特に天ぷらが好きで、中でもエビの天ぷらを好んでよく食しました。又、驚いたのは、お正月に娘の振り袖を美容院で着付け、髪を結い、上げてもらった時、本当に美しい容姿の娘に出来上がり、お茶を立てる姿は、日本人より日本人的であったのには驚き入りました。



今回、Y E 生受け入れに際し、主人、子供達の反対もなく、応援してくれ、改めて家族の心情に触れ、心暖まる思いが致しました。

彼女と空港での別れの後、息子二人の車に乗り込んだとたん、オフクロ、ご苦労様でした。と思ひもかけぬ言葉が耳に飛び込んで来た時、胸にじんと来るものを覚え、よきせぬ言葉に薄く涙がこぼれ落ちました。

子供達もボランティアに理解の心を持ってくれ、喜んでいてくれていたのだなと、本当にホームステイを受けさせて頂いて良かったと感得しました。

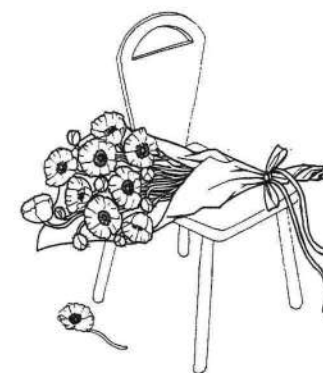
彼女の去った後、部屋に入りますと、ちょっぴり淋しさが胸に込み、力が抜けたような…自分でも不思議な気持ちでした。

短い期間ではありましたが、寝食を共にし、大切な人様のお預かり物であると言う事に、私自身気を入れていたのでしょうか……。今迄体験した事のない寂寥感を覚えしました。言葉が通じなくても、心があれば相通じるものと言う、素晴らしい経験を、人生初めて味あわせて頂きました事に、深く感謝致しますと共に、今迄遠くにあったオーストラリアが身近に感じられる様になったのも、ホームステイのせいでしょうか。

今、激動する社会にあって一滴のしずくの奉仕でも、その子供達が社会に巣立った時、お互いが相互の国を愛し、理解し世界が平和であります事を願いつつ、彼女と接した日々を振り返り乍ら、今頃何をしているのだろうか等と、時々彼女に思いをはせ、いつの日か、日本に来て勉強をしたいと言っていた彼女に、エールを送りたいと思います。

今回、私に、Y E 生のホームステイの機会をお与え下さいました、桜クラブの方々に深く感謝致します。

ありがとうございました。





この一年をふりかえって

視力・聴力保護・災害・保健

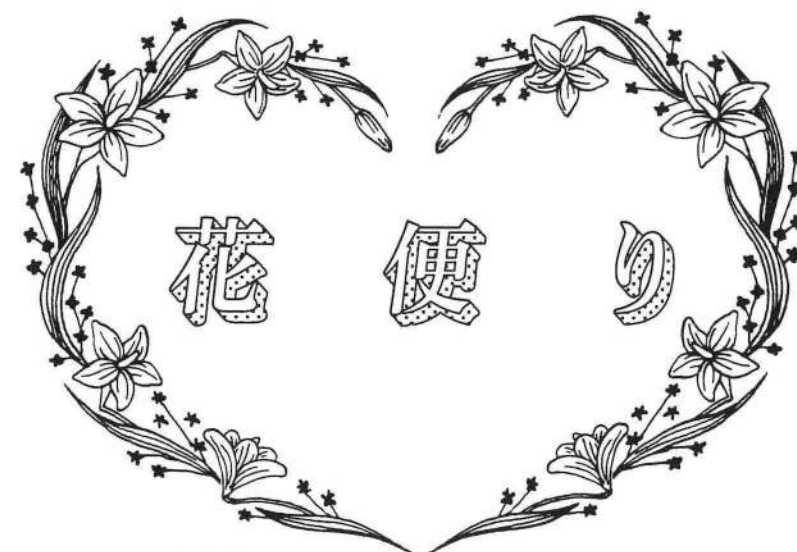
糖尿病教育・レオプログラム委員長 L 山 口 マツ子

この一年間いろいろな行事がありました。

レオプログラム委員会では、夏季研修会、秋季クルージングオリエンテーション、合同クリスマス例会、年次地区会議等、保健委員会では、年に二回の街頭献血運動、市町村合同献血推進研究会、地区献血推進者研究会、ドミトリーちゃん写真展とりんごの会街頭募金、スリランカへのめがねを募る会でアリヤラトネ博士を囲む会等、これらの行事に参加して感じたことは、LEOすなわちLederchip（指導力）・Exprience（経験）・Oppotunity（機会）の意味のもとに、その精神を培い、ボランティア活動に参加出来るようにと、一生懸命務めておられるライオンズクラブの会員の方々に、頭が下がる思いでした。その思いが実って、去る1月の阪神大震災の時には、三三七A地区のレオクラブ会員十五名がボランティア活動隊を結成し、被災地区に赴き、その活動を果たしてきました。心温まるすばらしいニュースでした。クリスマス例会では、レオ会員とゲームをしたりして楽しいひと時を過ごしました。

街頭献血運動では、自己中心の考えが強いこの頃ですが、私達の呼びかけに快く応じてくれる人々に出会うと、とてもとても嬉しい気持ちになりました。献血運研究会では、十分間スピーチの役が廻ってきて、心臓をドキドキさせながら我が桜ライオンズのPRをした事もありました。

これらの機会を通していろいろの出合がありました。自分の任務を果たせたか疑問ですが、ボランティアに携わることは、まず「参加すること」で、そこに何かが生れ、輪が広がり、楽しい気持ちになり、奉仕することではないかと感じた一年でした。レオクラブの会員が、すくすくと明るく成長することを心から願っております。



テールツイスター
L 長 寛 子

一年間、テールツイスターをつとめ
沢山沢山のメッセージをいただきました。
ほんの少しだけ御披露いたします。

脳内出血で倒れた主人が命拾い
しまして8ヶ月すぎました。昨
日はじめてリハビリテーション
の先生にささえられながら20m
程を歩くことができました。花
の語らいに拙い文をのせて下さ
いまして有難うございました。
皆様から寄せられました御見舞
に感謝して...

平成七年の元旦を、温泉地の旅行先
で孫と共に元気で迎え、一月五日は
全社員揃って新年宴会を厳粛な中に
楽しく済ませる事が出来ました。
今年も、会社共々身も心も健康で輝
かしい一年であります様に願いつつ

今春、下の娘が大学を卒業
いたしました。地元の建築
研究所で建築士の卵として
腕をみがくことになりました。
社会のお役に立つ人になれ
ますように親の気持ちです。

黒人美人コーラスより

ニューヨークブロードウェイより
来福致しました8名の美人ダンサー
おなごりおしゅうございますがニュー
ヨークに帰ります。又、何かの折
にはお声をかけて下さい。出演料
はいただきませんでしたが、ドネー
ションさせていただきます。

三役の皆様各委員長の皆様この
一年間本当におつかれ様でした。
晴の日も、雨の日も、嵐の日も
本当に御苦労さまでした。

今日はクインに当り、とてもた
めらっています。自分の顔がみ
えないので何とも言えませんが…
今日は嬉しく思っています。

二人でカナダにいったまいました。
沢山のお土産をと思いましたが、
ドネーションにかえさせて戴きます。

チャリティ能会で主人と息
子が舞わせて頂きました。
奉仕出来る幸せに感謝して…

数え77才の喜寿を迎えました。
年をとったのが夢の様です。
来年満77才に「花と人生」の本を
出します。
その時、祝を盛大におねがいします。

久米若奈さんへ
心あたまる募金をしていただき
ありがとうございます。桜ライオン
ズはじめ皆様の愛の灯によって無事
肝臓移植が出来、生命が救われるよ
う祈ってます。 感謝

暑中お見舞申し上げます。
毎日暑い日が続いております。
どうぞ、お身体を大切にお過ごし下
さいませ。
今夏はあまり暑いので、はがきを書く
気になりませんので暑中見舞をここで
ごめんなさい。

本社ビル完成の上、移転致し
ました記念にテレホンカード
を配布致しましたので、お受
け下さい。

静かに奉仕をして頂いて
いる手作り参加の皆様に
深く感謝致します。

「おばあちゃん、早く良くなって下さい」 に元気づけられて

豊原典依



「ママばあちゃん、はい」と孫の健太（3才10ヶ月）が長い筒の中から、一枚の絵を出してくれました。白い画用紙にブルーの洋服を着て、頭の上に黄色のプロペラをつけ、地上に舞い下りてくる三人の天使の絵です。

「おばあちゃん、早く良くなって下さい」とメッセージも書きしるしてありました。3月7日に、検査入院と、軽い気持で個室のベッドに横たわって四ヶ月の日々が過ぎようとしています。一寸先はやみ。今年の元旦は元気で1年をと願っておりましたのに、まさか手術なんて予期せぬ出来ごとです。承天寺の上人さんが「病人は病人らしくする」と禅宗の言葉があるのだよ、と言い聞かされ「病人が病人らしくすると迷って、おちつかず、おちこんでしまうからいやです」と反論しました。「そうじゃないんだ。病人は休養して身体を休めることだ」と説得されました。

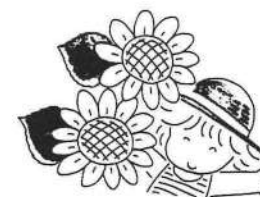
多くの方々から励まされました。人生一度しかない。生きて、生かされる生命であるならば今日一日を一生懸命幸せを、感受して生きねばと、勇気づけられます。

戸惑い、不安に駆られ乍ら過ごす日々より、生きている喜びに感動し、感謝し、時を刻みたい、多くの友人、諸先生、先輩の温情を身近に支えて下さる人々に感謝致します。

思いやりの心を忘れず、反省、努力をおこたらず、共に喜び、助け合い、意義ある人生を過ごせたらと精進したいです。自分をしっかりとみつめ、自分らしさを大切に心響く人付き合いを広げ、ふくらませて、美しく生きいきと年を重ねたい。

考える時間を与えて下さって有りありがとうございます。

今日は来てくれるかしらと、孫達の足音を耳をすませて待ちこがれている日々です。



花によせて

山口 マツ子

野いばらの散り敷く庭の香りたち
そぞろ歩きのおぼろ宵かな

濃みどりにしみ入る雨の音もなく
ほんのり匂ふあじさいの花

きり雨にぬれて散りそなぼたん花
手をさしのべてしばしたたずむ



親の心子知らず

今村 美子

退屈な日々のある日、身の整理を致しましょうと……
書棚の引き出しから書きつぶしのハガキが出て来ました。
投函したのか、しなかったのか？ 縁談の依頼なのです。

私共の長女、由香こと一昨年純真短大を卒業致しましてから、全日空に勤めますかたわら、お茶、お花とひととおりのおけいこごとをさせております。今年もう満二十才になりますのでこれはというお相手がいまいましたら、そろそろ嫁がせたいものと考えております。

私共には、在福の親戚とてなく親しくおつきあい願っておりますのは、あなた様だけでございます。そこで、何かというあなた様におすがりするようなことになって誠に迷惑とは存じますが、お心当りに然るべき縁向きがいまいましたら、お世話下さいますようお願い申し上げます。

この直後すでに特定の人があることが発覚、ひともめございましたが…
あの時あの頃が私にとって一番のときめきの時だったのかも知れません。

桜の皆様へ

濱本 容子



今日は!! 濱本です。

今日は皆様に心から御礼申し上げたいと思ひまして、私は65年間生きて来て、素晴らしい皆様と御一緒に行動出来て、とても幸せに思っています。何よりもうれしいのはこうして皆様と出会えるよろこびです。

チャーターナイトの頃は、ライオンのラの字も知らず、皆様のお顔も中々をおぼえず、何か別の世界に迷い込んだ様などまどいもありましたが、会を重ねて様々な交流の中で「はっ!!」とする様な新しい発見をし、教えられ、私より年若い人々の活力、物の考え方、尊い使命感が伺えて一人一人の方が、本当に素晴らしい花の桜ライオンズだと思います。それに、人が大好きな楽しい人達のお集りで、みんな明るく大らかな人が多いと云うのです。思いやり深い魅力あふれる、きめ細やかなやさしさ持たれた人達!!

どれだけ私ははげまされて来たのでしょうか。

温かいぬくもりの友情に包まれて、私は、この桜の人達が大好きです。

本当に皆様ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

伊藤 知恵子

私、ライオンズに入会して早、半年以上が過ぎました。

日ばかり過ぎて、まだまだライオンズのことを解らないまま、皆様の後について行っている様な状態です。まだ数回ですが、さくら老人ホームのおむつたみに参加させて頂いております。お仲間の皆様がとても親切に御指導下さり、その都度楽しくお手伝いさせて頂いております。スポンサーの野田様のお顔をつぶさない様、今後もいろんなことに参加して、一生懸命頑張りたいと思っております。

私、現在自営で、ブライダルのエージェントを致しております。もう十一年目になりますが、数多くのご結婚のお手伝いや、お見合いのお相手探しを致して参りました。

実は長男の結婚は初めての事で、ましてや昔のこと、どこへ尋ねたらよいのか、何からしてよいのか解らず、途方に暮れた経験から、少しでも人様のお役にたてたらと、ブライダルの仕事を始めました。現在では、数多くの指定式場を持てる様になり、頑張っております。どうぞお気軽にお申し付け下さいます様、これからもライオンズのお仕事と共に頑張り度いと思っております。

井川 ケイ子

川岸の若葉
灯に映え宵闇に浮き
小雨がけむりて
しづくが光の花と散る
静けさと美の川模様
降る橋に立ち
心うばわれ

孫のこと語り合ひては
箸はこび 思い出しては
又 笑い

老二人 春宵の
旅の宿

若葉萌ゆ 山麓に
ゴルフ仲間の黄色い声
山坂を右左と小走りに
山雀も来て さわぎ立て
汗かき かき ホールアウト
アア あのショットが口悔しい

靴下への想い

山下 富美子



生まれて間もない赤ん坊に靴下を履かせる時、何と可愛く、小さくて母の手の中に入り過ぎて、壊しそう。強くしたら骨折しそうな足、とても暖かく足の裏もふわふわと丸く、これから一生立ち歩くたびに平たく強くなるのだ!!と喜びに満ち満ちている。

嫁いで、夫に仕えるのが妻のつとめ

と教えられ、出勤間際に靴下を履かせる、とても大きく、遅く妻のために、今日も一日頑張るぞ!!といばってる足。

以来四十年。急病で倒れ全く自由のきかぬ右足、これこそ履かせるのに悪戦苦闘の毎日。遅く固かった足の裏が、月日と共に柔らかくなって行く。残念でならない!!

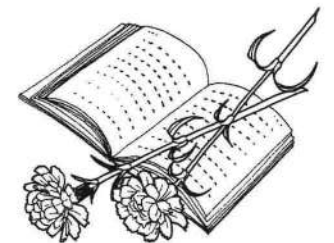
思い出せば、十年間アルツハイマーで寝た切りだった、姑の足の裏は生まれたての赤ん坊と同じ様にまあーるく、ふわふわとなっていた。

「茶卓」という名前

浜田 一 昭

皐月に入れば、私のいけ花教室は茶道教室に早変わりする日があります。それは「八十八夜」の茶摘みの話をし、新茶を買って温度計を使って玉露、煎茶、番茶の入れ方や、お茶とお菓子はどちらが右か左か、等お菓子を戴きお茶を飲む…いつも花に向う若いお嬢さん等の顔が、会社から帰り疲れて教場に来てホッとした、ほころぶ顔を見るのが嬉しくもう二十年も続いています。これを始めた理由は、今は亡き母が、昭和20年頃から母の手製のお茶を、嫁いだ後迄も送ってくれていました。花を教え出していつもお稽古の後で「長寿の母にあやかって」とお茶を入れて皆によろこばれていました。

先日、或サークルに「茶卓」を持って行き茶を入れ茶卓にのせ「これ何というか知っている人?」と手をあげさせたら三十人の中で二人知っていました。その夜、最近父親の転勤で東京から帰り、私と同居する様になった25才の孫娘に早速尋ねてみますと「コースター?」「じゃ茶卓」とやっと答えくれました。時代が変わり、これも古き時代の遺物になったのかと一寸寂しい思いの一日でした。



談山（かたらいの山）

大山朱實

神社まつりの好きな私は6月11日、多武峯（とうのみね）談山神社の大化改新1350年祭に参加して、その土地の人々の質素でおごそかな祭りの輪の中におりました。

日本書紀や万葉集に親しんで飛鳥を訪れると、飛鳥の風土と数多くの史跡は激動の七世紀史と、当時の人々との哀感を我れの胸に甦らせてくれます。

談山神社は、奈良県桜井市にある、大和平野の最南端に位置する多武峯に鎮座し、藤原鎌足（中臣鎌足）を祭る。古く鎌足がこの上に登り中大兄皇子（のちの天智天皇）と談らい、力を合わせて蘇我氏を滅ぼした所でもあります。

同じ大和の桜井市に鎮座する三輪山、その山自体が大神神社のご神体とされている等々神社めぐりも楽しいものです。その日一日わが心ずすがすがしいの一言でした。

追伸 写真は毎年11月第2日曜日に境内の美しい紅葉を背景に蹴鞠祭のものです。



ある日突然

金川喜久子

母は85才、30年近く一人住いを続けていた。

健康には気を配り、寝込まぬ様にと常に言っていた。どこへでも一人でサーッと出掛け、歩く速さも決して私には負けない。80才近くまで奉仕を心掛け、今も敬けんなクリスチャンです。

ある日、ふらりと我が家に遊びに来た。夕食後、床に入ろうとして、コードにつまづきころんでしまった。足の打身にシップを貼り、その夜は休んだ。次の朝“おはよう”の言葉にも少し元気がない。熱も出だした。話しかけてもウンウンと言うだけで意思表示



もしないし視線も定まらなく全く“ぼけ老人”の様になってしまった。このままぼけてしまうのかと本当に心配になってきた。こんな状態が二～三日続いたあと、熱も下がらないので入院させる事にした。

母の入院生活は1ヶ月続いた。

検査の結果は別に脳にも異常

はありませんとのこと、一安心。金川家で寝込んだ二～三日と、病院を夜中に抜け出し、家に帰っていた事など、全く記憶にないと、母は振り返って話していた。

これを機会に母の一人住いは打ち切り、四国徳島の姉の所に行く事が決まった。年老いての引越を思うと子供達、皆の心は痛んだが、母は見事な去り方をした。友と別れ、近所と別れ、持ち物を整理し、ぐち一つなく、退院の日より二週間でサーッと越して行ってしまった。戦争を体験し、貧しさを体験し、大家族で苦勞したであろう母から一度もぐちを聞く事もなく行ってしまった。苦境に立った時、根性で立ち上がる母の姿を、無言のうちにいつも私達に見せてくれていたと思う。

親孝行とは良く聞く言葉だが、子供孝行の母であった。最後に、若くして嫁いで行く私に、母がアルバムの中の1ページに書き送ってくれた言葉を、いつも心に留め、守れる様努力している今日この頃です。『常に喜び、絶えず祈り、全ての事に感謝せよ。』

ありがとう。



日下部 房子

平成三年にアレンジメントフラワー会が四月にあり、その時、新人賞を頂いた作品です。



能 舞

Ｌ 野 田 慎 子

私は、能のおけいこを始めて、二十年余を過ぎ、今年も十二月に杜若と云ふ曲の能を舞して頂く事になり、只今、練習に一生懸命ですが、年を取っては、なかなか覚える事が困難です。でも、私の先生の熱意にて一步一步出来上がっておりますが、一日一日と大会が迫って参ります能、初歩の方が演じられる羽衣の写真がございましたので。

昭和56年11月29日、佳吉能楽堂にて演じましたので、一寸お恥ずかしいのですが、お時間がございましたら観て下さいませ。羽衣と云ふ曲は一般の方もご存知の事でしょうし、下手な事です但しペンを取りました。駿河国、三保の松原に住む白竜という漁夫が、春霞のたなびく長閑な景色を眺めている。ある松の枝に美しい衣が懸かっているのを見つけて持ち帰ろうとする。そこへ天人が来て、衣を戻してくれるように頼むが、白竜は容易に返そうとしない。しかし、天路を恋しがって嘆く天人の余りの痛ましさに、天上

の舞楽を見せてくれるなら衣を返そうと云ふと、天人は喜んで承知し、優雅な月宮の舞を舞い、羽衣を翻しながら天空へと去って行く。あらためて説明の必要もない曲です。

これ程好まれるのは、この曲には、疑いや偽りといった醜い面を持つ人間の清浄無垢で優雅な天人への想いが込められているからでしょう。はるかに富士の高嶺を望む、三保の松原の美しい春景色を背景に昇天して行く天人の姿は、手の届かぬ人間の限らない憧れを描いたものなのです。この心が日本人の心に生きつづけております。



ともに生きる喜び

Ｌ 宇 山 典 代

溢れる感動を分かちあえる相手がいれば、喜びはまた無限に広がる。

動物を飼う楽しみは、自分ではなく相手が何をしたいのか、その表情から心中を読みとり、手を差しのべ、語りかけることで同甘共苦の交わりを深めることが出来ることにあると思う。

それは、生命あるものの接点から生まれる潤いの暮らしかもしれない。

人それぞれに贅沢な時の過ごし方があるように、私にとっては、いつも動物と時を共に出来る幸せを感じている。



(我が家の愛犬 サンボ 6オメス)



「恥ずかし嬉しい」プロの手解き

Ｌ 野 田 恵 美 子

庭の風もまだまだ冷んやりと肌を刺す頃、草木の手入れをしながら今日の夕食の献立を考えていた「リーン・リリーン」電話が鳴る。急ぎ部屋に戻り受話器をとると耳元に黄色い声が流れて来た。「ママ、今すぐテレビをかけて、ママが小林プロと出ているから…」「え！ほんと」すぐテレビを見た。画面いっぱい私が写っている、なぜかドキドキさせられた。

先日、小林浩美プロのレッスンを受けるチャンスに恵まれたその様子が、放映されているのです。当日は、アマチュアゴルファーの人達40人が集まり、レッスンを受けました。その中から男性一人と女性一人と私が何故か出ているのです。テレビの中の私は、表情も固く声もなく短い手と足が異様に目立ち、我ながら目をそらす有り様です。

その日はレッスンの方法も分かっていなかったのですが、数多い講習生が参加するのだから、「簡単なレッスンであろう」と軽く考えていました。ところが「マンツーマン指導」と聞いて、その場から逃げて帰りたい気持ちでした。

「野田さん、プロの所に行ってください」と声がかかり、不安な思いでスイングする場所に立ちました。テレビ局のアナウンサーが「ゴルフ歴二年半の、野田恵美子さん。今悩んでいることはドライバーの時、もう少し距離がだせればということでしたネ。」

「はい」大きく声を出したつもりでしたが、声が内に籠もり小さくなった。

小林プロが、「はい、わかりました。打って見てください。」私は「はい」と返事はしたものの、体は硬直状態、カチカチになった体を無我夢中でショットしました。幸いにチョロにならず思いの外よく飛びました。それを見たプロ「そうですね、角度を一定にすると、飛びますよ。体の回転にそって腕を回すといいですね。」

「はい」だが私の頭の中は、真っ白。唯々、次ぎも玉にあたれば良いかと、願うばかりでした。二度目も飛び、三・四度と打つうちに、もう一人の私がもうそろそろチョロが出るころですよと、赤信号を送ってきた。私は、レッスンの時間はまだ少し残っていましたが素早く「どうも、ありがとうございました。」と言ってしまったのです。今考えると、二度とないチャンスなのにと残念に思っております。はずかしい事ばかりでしたが、楽しい一日でした。

その後の私のスコアは、相変わらずコースを廻る楽しみぐらいの腕前です。努力の上に花が咲くと申します。これからは、六十の手習いでガンバって行きたいと願っております。

このすばらしい思い出を与えてくださいました方々に「ありがとう」と感謝しつつ最後に私の好きな詞をここに紹介します。

「出会い」ありがとう

ある日であった

あなたから教えてもらった ありがとう

とたんにまわりが明るくなって

おもわず叫んだ ありがとう

ある日であった

あなたから言ってもらえた ありがとう

とたんに自信と勇気が 湧いてきて

思わず叫んだ ありがとう

人生って 人間って すばらしい



作って、食べて、食べさせて

三 坂 万理子

卵ほど値の変らない品はないのではないだろうか。

36年前、結婚当時1個10円か12円くらいだった。10個も買って台所にあると、とても心豊かな気持ちになったものである。

子供のころ朝食時に母が姉弟6人に3個卵を「半分づつ分けなさい。」と出してくれる。私は弟と分けるのだが、腕にボンと割り、醤油を入れカッ!!カッ!!と箸でとき弟の茶碗にかける、ドド…オーとまざった卵液が温いごはんにかかるのだが、ほとんど白身ばかり。弟は「お姉ちゃんありがと。僕のにいっぱいかったね」と喜ぶ。私の茶碗には栄養たっぷりの香りのいい卵ごはん「シメシメ」とばかりに口にほおぼる。今にして思えば、わざとしたわけではないのだけれど、そんなささやかな食卓の賑いも懐しい。

双子の妹の離乳食を食べさせるのも私の役目、おかかのかかったおいしそうなおじやを二人の妹に食べさせる時、いつも半分は私が食べていた様に思う。小学校の時、健康優良児で表彰された時は「ぬすみ喰いのまりちゃんやからもっともだ」と姉弟からひやかされたのも懐しい。

かの有名な北大路魯山人の言葉の中に「料理の美味不味は10中9まで材料の質の選択にあり、それを生かすも殺すもその料理人の心にある」と云っています。

又、料理材料が何万何千とあるが、一つとしてそれ独自の持味を有しないものはない。どんなものにも他のもので代用し得ない持味があるもの。天が作り地が作った自然の力がものを言ってるからである言っています。

料理が材料を活かす舞台なら、それを見る人のすべての喜びにつなげるのは料理人の心だと思うのです。興味があれば、盗んでも食べて見ることだと云った魯山人の言葉はとてもうれしく思います。

一つの物をどの様に生かし、どの様に変化させ人生を喜ばすことが出来るのかと思うと、ゾクゾクとした喜びを感じて仕事をしています。





パリの花市

Ｌ 山 川 久美子

このたび天神岩田屋にて四年ぶりの作品展「パリの花市」を皆様に見ていただき大変好評の内、無事に終る事が出来ました。ありがとうございました。これからも「染め花」に向けて取り組んで行きたいと思います。

平成7年6月21日



西崎流創舞60周年 (国立大劇場 於)

平成7年2月14日

Ｌ 木 原 園 枝

連獅子の母親獅子を 西崎松枝（私）が踊りました。

この曲は、能の石橋から出た松羽目物舞踊の一つで、獅子は我が子を千仞の谷にけ落とし登ってくる元気な子だけを養うという伝説に取材されました。



一枚の写真

Ｌ 明 石 津矢子

毎年例会出席の都度、会長はじめ会員の皆さんの個性豊かな成長ぶりに驚きさえおぼえます。「花の語らい」もしかり。全員参加、これは仲々よい発想ですネ、楽しみにしています。此頃身体は動かしても頭を動かさない日々、錆びた脳はどうしようもなく、写真で参加。／吾が家族は、いつの間にか頭より髪の方で格好つけたいのか？長男・売れ残りの、のほほんと過ごしている娘と、充分気を遣ってくれる嫁の四人だけ。孫を欲しいと思ったことは無かったのに、大家族は良いナーと昨年から思いはじめたのは、やっぱり年令の故かと、思ってもみる。家族だけで写ったのは、はじめて。何故かチャンスに恵まれず、私の貴重な一枚の写真になってしまった。

昨年七月、娘の友人が永住権をとって旅行業して居られるので、ハワイ四泊六日のツアーに参加、観光旅行団と別行動にして自由と、グルメを堪能出来ました。又行きたいものと胃の腑がおねだりをしている今日此頃です。



私の耳飾り？

Ｌ 飯 田 馨 子

ライオンズに入会してはじめて、イヤリングをつける様になった。何度か落とし、それもきまって片方だけ、「どうせすぐ落とすから」と申し訳しながら、何時とはなしに安物ばかり何点か買った。その私が、今回大奮発して高価な、それも片方だけの耳飾り？を遂に買う事にした。イヤリングではありません…耳飾りでもない…実は補聴器を買っ

たのです。

一昨年頃から聴力が悪くなったと、度々感じる様になって来た。人から話しかけられた時、一度で聞き取れずに、何度も聞き返しては相手の方に迷惑をおかけするし、自分自身もばつの悪い思いをする事が度重なって、やっと決心がついたわけです。

一ヶ月位時間をかけて徐々に馴らす様に、という事ですので只今ひそかに訓練中。ところで、この耳飾りならぬ補聴器、なかなかのすぐれ物の様です。私の必要とする音のみ拾い、その他の部分はお断わり、といった具合で騒音もカット出来るという事です。

この一ヶ月で飼いならして、私の体の一部分となって貰いましょう。

七月はクラブの年度始め、そして私の誕生月、初のお月見出来ますかどうか。

老眼鏡、義歯、補聴器、等々、助人さん大歓迎。



私のパートナー

米 永 誠 子

三十五年前、道をすれ違う男性が、振り返って見ていた、目もとパッチリの可愛子ちゃんも、孫二人のおばあさんと皮肉を言う私のパートナー。一級建築士の長女、精神科医の息子、歯科大生の次女のオールプロフェッションで、道こそ違え同じ専門家である事に生き甲斐を感じているパートナー。

停年を迎えたら退職金の半分以上を君（妻の私のこと）に贈与し、あとの半分以上を五年間で、二人で使い果たすこと…等とのたまうパートナー。夫婦そろって遊ぶ事には、前面賛成の似た者同志、停年後、年若き時に出来なかった不動産鑑定士、税理士事務所を開設し、第二の人生ならぬ第三の人生を目論み、人生死ぬまで現役を目指す元気印のパートナーに次の言葉を贈りたいと思う。

レオナルド・ダ・ビンチ（五百年前にモナ・リザを書いた画家、建築家、音楽家、即興詩人）の「よい一日は、良い眠りをもたらし、よい人生は最善の死をもたらし」と云う言葉。

人間の本质は、世界中変らないし、時代を経ても、新鮮でさえあります。この言葉通りのことが出来れば、人生最高の“幸”であろうと思うのですが、どの様な結果になりますことか。

〈俳句〉

二 田 初 子



ジョギングの 道また萩の 散れる道

湯豆腐に 母の片身の 象牙箸

高々と 噴水みずの 棒となり

風光る ドームの屋根の 片開き



夏のれん

国 友 千 恵 子

取り替えし暖簾より涼生まれけり

青竹に つるし涼しき 暖簾かな

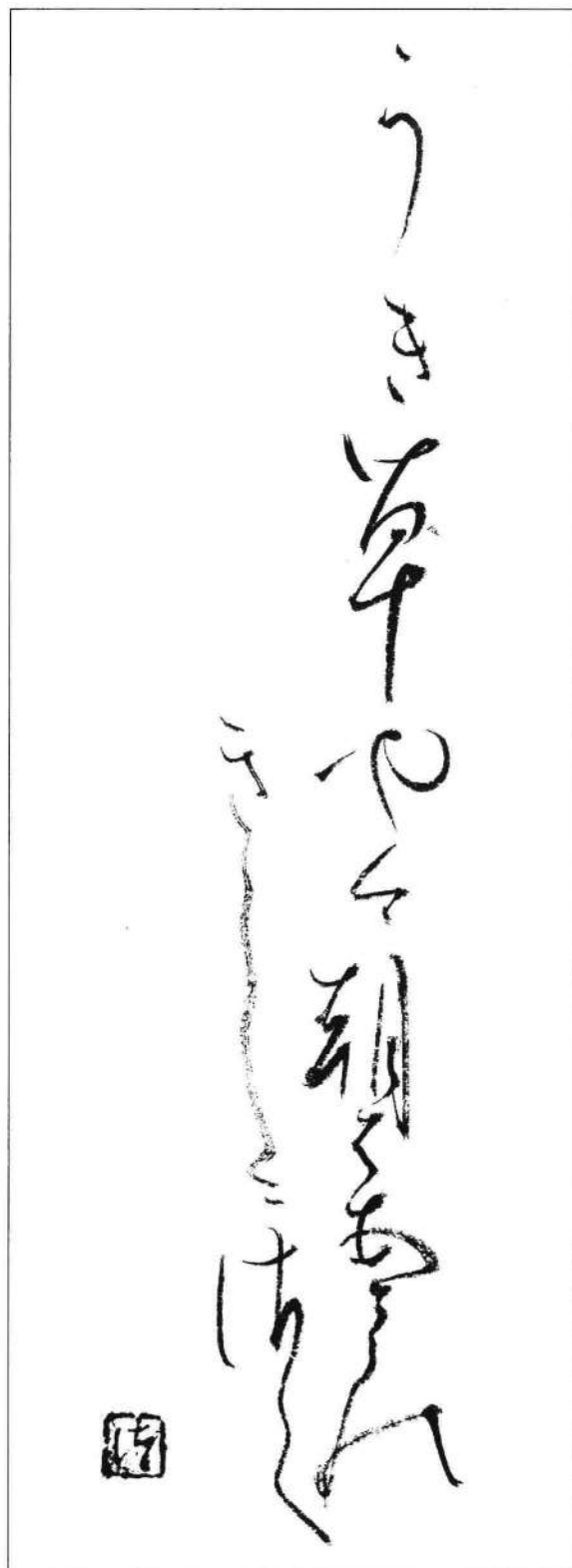
父の墓 草を引く手に てんと虫



江口 子

うきくさや今朝は
あちらのきしにさく

中川乙由の句



「あいちゃん」

加野 乃美子



明治34年、石炭卸商の前田家に生まれたあいちゃんは、色白な美肌にもかかわらず出歯で並びが悪くその為に顔の造作がすべてこわれて見えた。自分の不器量を悔やむあいちゃんを母のキンは諭した。「神様は誰にも一つだけは取柄を与えて下さっている筈ですよ」と大正十年太宰府の五条から宝満山麓の内山へ矢野与一さんの人力車に揺られ、坂道は仲人の前田清市さんの後押しで、あいちゃんは嫁に行った。夫の松寄一男は農家の一人息子に生まれ祖母のマキ・父の鶴吉母のタツと五人の姉妹が居た。一男は小柄な美男子でした。父の鶴吉は、不器量のあいちゃんを気に入らず酒を呑んでは嫁いびりを始めた。「きつい仕事は骨太なあいちゃんにさせろ」重労働はあいちゃんの仕事になった。ある日突然あいちゃんは里帰りをさせられた。松寄家では親族会議が開かれていた。鶴吉の従兄弟に実印を偽造され、鶴吉は突然保証倒れの憂き目にあわされていたのでした。会議は何日も続いた。あいちゃんはき然として言った「私は松寄家の嫁です。私の前で会議をして下さい」と、これからあいちゃんの苦労は始まった。二町歩の田畑は残されたが五千円の借金が残った。大正十二年長女の金代が生まれ、大恐慌の昭和二年に二女の信子が生まれた。生活は依然苦しく田畑耕作の合間に養蚕があった。蚕は夜中にも桑を与えなければならず、寝ずに働くのが母の姿だと金代と信子は思っていた。

大きな手籠を背中にしょって桑摘みに行くあいちゃんに金代と信子は喜んでついて行った。濃紫にうれた桑の実のは甘く二人の唇を紫に染めた。春の土筆とり、わらび刈りを二人の娘は楽しんだ。稲の収穫も終えた九月の太宰府天満宮の秋祭りには、あいちゃんも里帰りを許された。金代も信子も喜んで五条について行った。そこはキンの孫達が集まっていた。隆ちゃん、喜代ちゃん、耕ちゃん、俊子さん、淑子ちゃん、啓子ちゃん、キンはそれぞれに五十銭の子遣いを与えた。「鏡台の上に財布を忘れて来ました」とあいちゃんは言った。「あゝそうか」とキンは笑ったが、小遣いを渡せない一男を思いやりの心使いとキンは理解していた。子供達は手をつなぎお祭りにくり出した。参道には茶碗せり、バナナの叩き売り、境内には露天が並んだ。「ねえちゃんねえちゃんよ」「あいあいー」の声が聞こえる。何の因果か、ねえちゃんは頭は人間、身体は牛、さあいらっしゃい、いらっしゃい、お代は見てのお帰り。隣はのぞきに人がたかる、山根サーカスは一



番大きな見せ物でした。

昭和十六年末娘の禎子が生まれ、あいしゃんは五人の母親になっていた。この頃より一男はぜん息で身体が弱り、義母のタツは神経痛を病んだ。一町三反の田んぼと七反の畑はあいしゃんの肩にかかった。この時にあいしゃんは言った「神様は私に健康という宝と最も好きな百姓という仕事を与えて下さった、私は幸せです。」と。

それから何十年の歳月は流れ、平成二年の春、百姓を至上の喜びとしていたあいしゃんは、庭の草取りで転び木下病院へ運ばれた。この日から四年間毎日病院へ通い看とったのは末娘の禎子とその娘の楽子でした。

平成六年二月十四日、あいしゃんはすべてを終えて天界へ移行した。九十三才にしてなお惜しまれるその顔は慈悲に満ちたおだやかな愛そのものでした。この年の十一月楽子は女兒を出産し「愛」と名付けた。

折ふしの危うさを知り過ぎしもの
年経て深き眼差を見ず
(靖典)

私の散歩道

┌ 中 島 寛 子

私の家は、泣いても笑っても、幸か不幸か主人と私の二人の家族です。毎朝二人で散歩に出かけるのが一日の始まりでもあり、楽しみでもあります。散歩は、自宅から程近い舞鶴公園のお濠を通過、大濠公園に行く3km～4km位のステキな道です。その道は春は、桜、みどりの柳、今は萌えるような新緑に、野鳥のさえずりさえ聞こえて来ます。そして、池には可愛想な一羽のあひるがいる姿がとっても印象的です。

夏はハスの花がどろ沼より、綺麗な花を咲かせてくれて、力強さと、私の心をなごませてくれます。

秋から冬は、寒い北国から、可愛い、かもが沢山飛んで来て、すいすい泳いでいる姿がとっても可愛いものです。



この四季折り折りの自然の美しさに魅せられ、行きかう人との「おはようございます」との言葉に感動と、心のときめきを味わいながらの散歩がとても素敵です。

時には、真っ赤な日の出の太陽をおがませて頂く事もあります。

又、緑の木々の中に入り、綺麗な空気を吸い「気」を沢山入れる事も、楽しみの一つです。緑の中で体操、これも心と体をやわらかくほぐしてくれます。私は、このひとときがとても好きです。

私の近くに、こんなステキな散歩道があるなんて、私はとても「しあわせ」だなあと、しみじみ感じながら歩いています。そして、この「しあわせ」を感謝しながら、二人で何時までも歩き続けたいと願って居ります。



眼

┌ 油 布 征 子

五月の風薫る日曜日。2才半の実奈いわく「あっ、お魚が泣いてる」焼き魚の目をみての言葉である。そういえば前にも同じ様な言葉を聞いたことがあるぞ。思い起こす事二十八年前、息子が同じ事をいった。親子だなあーと笑いながら、世の中めまぐるしく変化し、このところ驚く様な悪いニュースが多いが、幼な子の眼は変わらないらしい。どんなに世界が変わろうが、この五月のさわやかな風の香りと、幼い子供達の純なやさしい眼だけは変わらないでほしいと願う。

私の容姿も変わらないでいたかったが、これはいたしかたない。



私のファミリー

Ｌ 入 江 恭 子

夫 53才 地方公務員
長女 25才 日立製作所
マルチメディア開発本部
横浜在住
二女 22才 建築士の卵 1年生



ごく平凡なサラリーマン家族のようですが、実はママ（私）は超多忙…
仕事に追われてアファフ…言ってるお茶屋さんだったのでーす。

私 福岡西鉄名店街 いり江豊福園 COFFEE TANIMA

私の仕事も、お客様に喜んでいただけるので、やりがいはあるのですが、娘達には、
神経すりへらしてお店なんかするより、他に好きな道を歩ませた方がいいと、家業とは
かけ離れた方向に二人とも進めさせたのが、横浜にいる長女から「福岡が好きだから
福岡に帰りたい」と申し出られた時は嬉しいような、又、私と同じように苦労して会社
やっていくのかと思うと、「福岡に帰って来んでいいよ」と、横浜に留ませようかと複
雑な気持ちでした。桜の先輩の皆様も、同様な経営の迷いは、多かれ少なかれ通られて
来られたんでしょうね。

私の宝物、孫です

Ｌ 光 益 純 子



気が合う二人

Ｌ 熊 本 セキコ

Ｌ 毎 熊 てい子



桜ライオンズに入会して

Ｌ 吉 田 由美子

この度、加野乃美子様の御推薦により桜ライオンズクラブの入会の承認を受けました。
厳粛な中に戴帽式をしていただき、L. になった時の気持ちを忘れる事なくライオンズの
精神に基づき努力致す所存でございます。

主人が、筑後ライオンズクラブに所属致しております。私もライオンズレディとして
いろいろな行事に参加致してまいりましたが、今度はL. として気持も新たにいろい
ろな行事に参加したいと思っております。

子供達二人YE生として、アメリカへ送りました。又、サンフランシスコより受入れも
致しました。共に文通したり致しております。

ライオンレディからライオンとしての再出発でございます。微力ながら、地域社会への
奉仕活動に務めたいと思います。

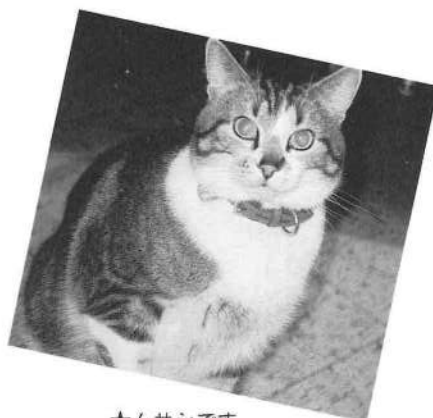
諸先輩の皆様よろしく御指導下さいます様お願い申し上げます。

㊦ 矢島久代



★我が家のグーとロンです

㊦ 菅野滋代



★ムサンです
(満13年)

㊦ 宇山典代



★我が家の愛馬
ミニチュア(オス)1才半

か
わ
い
い
で
し
よ

㊦ 秋山トシ



★名前はケン 12才
好物はさしみとご飯
近所にキャトランという美人
の恋人がいます。
ひまさえあれば大きないびき
をかいて寝ています。

㊦ 森本 攸子



★ベルとアミです
ベルは家の中でアミは庭中をかけ廻って
わが家の春を謳歌しています。
実際我家の人間達から一番愛されている
家族です。

㊦ 西川 ともえ



★ダックスフンドのミミちゃん(メス)
★シールティーのアレックス君(オス)

次期会長を受けて



㊦ 山本 千鶴子

提言 より広く より深く よりやさしい奉仕

庭にある一本の梅の老木に、今年は立派な大きな実が沢山なっております。

昨年の冬に、はじめて肥料「油粕」を根の廻りに置いたのがよかったのでしょうか…??

チャーターより7年目を迎え、歴代会長が立派な業績を残され、その後を継ぐ者として、大変に責任を重く感じております。

次期はゾーンが変わり、又、クラブより松井ゾーンチャーマンが誕生いたします。

日本で、はじめての女性のゾーンチャーマンを成功させるためにも、全会員が水になり肥料になって立派な花を咲かせ、実を实らせようではありませんか…?

気持ちを新たに各委員長をはじめ、全会員の協力をいただきながら、一年間をがんばっていききたいと思います。



〈'94夏期Y E派遣生 香月友紀さんと〉

- 7月 ○ '94夏期Y E派遣生香月友紀さん
見送り→帰国8/30日
○労力アクト 博多さくら園
(おむつたたみ、おやつ差入れ)
天神、L. 山下宅にて手作業



〈納涼例会〉

- 8月 ○街頭献血運動 (博多駅前)
○レオ夏期研修会参加 (海の中道海浜公園)
○筑紫少女苑盆踊り大会参加
○納涼例会 オークション 益金 577,800円
(ハイアットレジデンシャル福岡にて)
○労力アクト : 博多さくら園 (おむつたたみ、おやつ差入れ)
: 天神、L. 山下宅にて手作業
- 9月 ○ライオンズデー (博多さくら園に鮭職人と共に寿司の差入れ)
○労力アクト : 博多さくら園 (おむつたたみ、おやつ差入れ)
: 天神、L. 山下宅にて手作業

- 10月 ○台湾新竹慈慧L C来福 (さくら園訪問、ドネーションを頂く)
○りんごの会「ドミトリーちゃんは今」の写真展
○募金15万円を贈呈
○胆道閉鎖症 久米若菜さんへ
ドネーション 361,000円
○スリランカの
アリヤラトネ博士来日
古メガネ37ヶと
ドネーション10万円
○筑紫少女苑 運動会参加
○レオ秋期
オリエンテーション参加
(博多湾クルージング)
○労力アクト : 博多さくら園 (おむつたたみ、おやつ差入れ)
: 天神 L. 山下宅にて手作業



〈台湾新竹慈慧L Cさくら園訪問〉

- 11月 ○資金獲得チャリティ
「市民と親しむ能の集い」
益金848,400円
○筑紫少女苑 桜の木植樹20本寄贈
○救急センター 軽自動車1台寄贈
682,890円
(在宅看護ステーション開設に
伴う訪問用自動車)
○3ゾーンチャリティゴルフ参加
○労力アクト: 博多さくら園 (おむつたたみ、おやつ差入れ)
: 天神、L. 山下宅にて手作業



〈資金獲得チャリティ〉

- 12月 ○南福岡病院こばと病棟、博多さくら園、松風園
クリスマスプレゼント (手づくりエプロンなど)
○中学生作文表彰「私の家族」 応募数226点



〈南福岡こばと病棟、博多さくら園、松風園へクリスマスプレゼント〉

- '94冬期Y E生受入れ
(オーストラリア・プラニーホッチスさん)
○若宮園バザー用品を寄贈 209,000円
○L C I F 献金、個人22名(1人1,000ドル)
クラブ1,000ドル
○労力アクト: 博多さくら園
(おむつたたみ、おやつ差入れ)
: 天神L. 山下宅にて手作業

- 1月 ○台湾新竹慈慧L C公式訪問
智観寺(尼寺)
5万円ドネーション
樹仁残障福利事業基金会 10万円ドネーション
○Y E生プラニーさんとボーリング大会(1月24日、帰国)
○労力アクト : 博多さくら園おむつたたみ、おやつ差入れ
: 天神L. 山下宅にて手作業



〈台湾新竹慈慧L C公式訪問〉



- 2月 ○チャーターナイト記念例会オークション 益金750,400円
 : 阪神大震災救援義援金としてクラブより拠出
 : レオ阪神大震災へ救助活動参加時にノート100冊、エンピツ400本
 ○夢松原の松の苗木を植樹 60本寄贈
 ○スリランカ訪問施設団にL福島サカエが参加
 : 古メガネ100ヶ余り持参する(会員よりドネーションも)
 ○労力アクト
 博多さくら園(おむつたたみ、おやつ差入れ)
 : 天神L.山下宅にて手作業



〈夢松原の松の苗木植樹〉

- 3月 ○街頭献血運動(博多駅前にて)
 ○労力アクト : 博多さくら園(おむつたたみ、おやつ差入れ)
 : 天神L.山下宅にて手作業
- 4月 ○337A地区年次大会、全員登録で参加(北九州)
 : 「ライオンズクラブの歌」ダンス披露
 : アワードクラブと個人に13ヶ頂く
 ○筑紫少女苑 : 花見に参加
 ○博多さくら園 : 開設記念日に参加
 ○労力アクト : 博多さくら園おむつたたみ、おやつ差入れ
 : 天神L.山下宅にて手作業
- 5月 ○複合地区年次大会参加(宮崎)
 ○簡易保険還付金 11月→50万 6月→80万 合計130万クラブへ
 ○労力アクト : 博多さくら園(おむつたたみ、おやつ差入れ)
 : 天神L.山下宅にて手作業
- 6月 ○労力アクト : 博多さくら園(おむつたたみ、おやつ差入れ)
 : 天神L.山下宅にて手作業



クラブ誌「花の語らい」も第4回となります。
 今期は全員参加ということで皆様から原稿を寄せて頂き「花便り」といたしました。
 原稿が期日まで間に合わない等製作に少々時間を要しましたが、委員長不在の為、森本会長、濱田幹事の多大な御協力を頂き発行に至りました。
 私共三人、惑いながらも懸命に取り組んで参りました。
 不行届きの点が多々あるとは思いますが、どうぞ温かい心でご拝読下さいませ。
 皆様のご協力を心から感謝申し上げます。



〈PR会報編集委員〉

「花の語らい」

発行 福岡桜ライオンズクラブ
 編集 PR会報編集委員会
 発行日 平成7年6月30日
 印刷 末松印刷株式会社
 福岡市博多区東那珂2-4-36
 TEL (092) 411-6131



FUKUOKA SAKURA
LIONS CLUB

